

◎小鹿野町 議会だより

第62号

令和3年5月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



6月より解体予定の小鹿野庁舎議場で最後の記念撮影

Contents

3月定例会	②～⑥
3月臨時会	⑥
審議結果一覧	⑦
一般質問	⑧～⑪

令和3年3月定例会・臨時会が行われ、条例改正や令和3年度一般会計予算、財産の取得や処分についてなどを審議しました。

第1回3月定例会

会期3月9日～12日

本議会では、条例の制定や令和3年度各会計予算など、町長提出議案25件が上程され、慎重審議のうえ、全ての議案を可決しました。また、請願1件を採択し、議員発議1件を可決しました。

令和3年度一般会計予算

一般会計では、前年度比3億8600万円増（5・2%増）の歳入歳出総額78億2500万円の予算となりました。

【討論】（要約）

【原案に反対】 9番 岩田 和幸

農業資料館については、基本計画がしっかりしていないことが分かり、問題だと思えます。

また、庁舎建設は、コロナ禍の状態では、やはり凍結すべきです。合併特例債も令和7年度まで使えて、余裕があるはず。計画は計画で、少し時間を経過した後に振り返ることも必要だと思えます。

水道について、高料金対策として約4千万円、統一料金適応先送り分として半年分で4千万円併せて8千万円になります。水道統合する前は大体7千万円ぐらいで工事をやって来ていたので、統合しなくても良かったのではないかと思います。

クライミングに関しても、大金を掛けた施設ですが、掛けた金がどれだけ回収できるのか分かりません。また、一般のスポーツとは違い、競技人口は少ないと思います。以上の点から反対します。

【原案に反対】 7番 出浦 正夫

今回の予算について、数々の立派な中身が含まれているにもかかわらず、どうしても納得ができない点がござります。

一つは役場庁舎の建設です。なぜ今やらなくてはならないのか。この時期に急いでやる必要はありません。今は、コロナの対応に全力を傾ける必要があります。両神庁舎に移転すると、非常に過密になるはず。

もう一つは、水道です。広域化すれば住民の声は届かなくなり、料金は上がると私はずっと申し上げてきましたが、その通りになってきました。この4月か

らは秩父郡市全体が埼玉県の中で一番高い水道料の負担をしなければならぬ事態になるわけです。なぜなら、がむしやりに工事をやるからです。水道局の考えは各構成市町に要求すれば金は出てくると思っているのに違いありません。今後、水道料金はどこまで上がるのか非常に問題があります。

何が何でも新庁舎を今年と来年で造ることや、広域水道のためにはお金をどんどん出すというような考えでは住民の生活が守れないと思いますので反対します。

【原案に賛成】 1番 笠原 義行

まだまだ先行きの見通しが困難な中でも、しっかりと前に進んで歩んで行かなければと、悩みながら、様々な事業への予算配分等を考慮した評価できる予算案だと感じました。ピンチをチャンスに変え、攻めの行政も大切で、本予算案にはそういう姿勢が感じられます。

コロナウイルスの影響をしっかりと検証すると共に、財政状況を注視し、今しかできない事、今やらなければならぬ事等を見極め、事務事業評価を徹底的に検証、見直しをし、新しい小野

町創造のため、確固たる信念の元突き進んでいただきたいと思えます。

町村議員の基本知識をまとめた『議員必携』という書籍には、「予算の議決には①原案可決、②修正可決、③否決の三種があるが、このうち③の否決は予算の確定を全面的に否認することであるから、町村長の提案した予算が極端に異常なものでない限り、否決は避けて、修正その他の法途を講じるよう努力すべき」と書いてあります。

質問に対する答弁等を総合的に判断しても、極端に異常なものと判断するのは難しいのではないだろうか。以上、賛成討論といたします。

【原案に賛成】 10番 加藤 喜一

この予算案には、50年を過ぎたこの庁舎を新しい庁舎に建て直す事業が含まれています。

また、小鹿野町の今までの事業は、中山間地のモデルの町と言って良いほど、素晴らしいものがいっぱいあります。

私はこうした予算をしっかりと議決することによって、小鹿野町がなお一層発展して、町民の皆さんの負託に答えられる町であることを期待し、賛成します。

請願のゆくえ

請願第10号 ○障害者福祉行政の充実、障害者福祉施設の設置に関する請願書

請願者 小鹿野町障害者福祉を考える会 会長 新井 恵美 外2, 887名

紹介議員 出浦 正夫

請願審査 12月定例会で文化厚生常任委員会に付託され継続審査となった本請願は、2月26日に開催された本委員会において審査した結果、「採択すべきもの」と決定し、3月定例会（12日）において委員長が審査結果を報告しました。審議の結果、委員長の報告のとおり採択され、次の請願書を執行機関に提出しました。

障害者福祉行政の充実、障害者福祉施設の設置に関する請願書

【請願趣旨】

今日、障害者およびその家族は日々の生活や学校卒業後の就労等を考えるとたいへん不安な思いで生活しています。うちつづく新型コロナウイルス感染症の感染拡大の下でさらに不安が募っています。

秩父特別支援学校に通学する児童生徒の放課後デイサービスの必要性が高まっていますが、小鹿野町にはいまだ設置されていません。とりわけ医療的ケアが必要な児童生徒の放課後デイサービスは秩父郡市内に設置されていません。

秩父特別支援学校卒業後の就労施設、作業所等の受け入れ施設が小鹿野町内には少なく、就労施設、作業所の増設が求められています。

障害者およびその家族が安心して生活することができるよう、町の福祉行政の充実を強く求めます。以上の趣旨から下記事項について請願いたします。

【請願事項】

- 1 障害者福祉行政の充実にいっそう努めること
- 2 秩父特別支援学校に通学する児童生徒の放課後デイサービス施設を設置すること、医療的ケアを必要とする児童生徒の放課後デイサービス受け入れ施設を設置すること、医療的ケアを必要とする卒業生のためのデイサービス受け入れ施設を設置すること
- 3 障害者、秩父特別支援学校卒業生の就労場所を保障するため作業所等の増設を図ること

◆◆ 決議書案の提出 ◆◆

議員発議による「岩田和幸議員の活動報告（第60号等）の内容及び日頃の活動に抗議し、猛省を促す決議書案」が提出され、賛成多数で可決しました。

提出者 加藤 喜一

賛成者 笠原 義行・齋藤 維・高橋 耕也・強矢 好光・猪野 武雄

可決された決議書は、岩田和幸議員に通知しました。

発議第1号

岩田和幸議員の活動報告（第60号等）の内容及び日頃の活動に抗議し、猛省を促す決議

令和2年10月19日、県当局においては、小鹿野町長、小鹿野町議会議員を対象に昨今の国及び県の財政状況等を踏まえ、皆野秩父バイパス延伸の可能性を最大限考慮した現実的見通しを真摯に説明したとの認識であります。

小鹿野町議会議員、岩田和幸君は、自らの活動報告の中で、西関東連絡道路 皆野秩父バイパス延伸に関し、「これまで県は、測量もしないでほったらかしにしてきた。そして、町長や議長、地元県議などの地元行政にも怠慢があった」旨の記述がなされています。しかし、これまで、町村会をはじめ、秩父道議連等では、毎年、また、機会あるごとに要望活動を鋭意展開してきております。したがって、怠慢である旨の指摘は事実誤認と言わざるを得ません。

岩田議員は、議員としての倫理観、信義誠実の原則を無視し、身勝手な行動をし、町民に誤解を与え、行政、町議会への不信感を募らせたばかりか、国、県からの政治的信頼を損なうと共に、本事業全体が休止状態になる可能性をもはらんでいると考えます。今回のような議員としての責務を欠いた無責任な議員活動は自己中心的と言わざるを得ません。よって、議員としての倫理観を欠いた活動報告（第60号）は、多方面の信頼失墜と共に町民に誤解を与えるものであります。

また、町議会議員は、町民全体の奉仕者としてその責務を自覚し、町民の信頼と負託に応えるため、公人として高い倫理観を持たなければなりません。岩田議員の活動報告又は議員活動については、再三にわたり指摘してきたが依然、対応がなされておられません。下記に反省点を指摘します。

記

- 1 各種委員会及び各議員の申し入れ等に対し、真摯な対応がなされていないこと。
- 2 全員協議会等の場において、出席議員等からの質問に対し、責任ある答弁がなされていないこと。
- 3 全員協議会の場において、不適切な発言及び議会の秩序を乱したこと。
- 4 「議会だよりは単に議員の宣伝の場」との本人評価に対し、議会だより編集委員会から説明と謝罪を求められたが、無回答であること。
- 5 全議員を対象とした先進地視察等において、自身が参加しない中で当該視察の必要性に公然と批判すること。
- 6 他の議会等への傍聴に出向き、ヤジ等を発し、先方の議会を混乱させていること。

以上、議員としての品位と倫理観を欠いた独善的な行動、発言を慎むよう、猛省を促し、かつ議員としての責務を自覚するよう強く求める。

以上のとおり決議する。

令和3年3月12日

埼玉県秩父郡小鹿野町議会

決議書案提出に伴い、一身上の弁明と討論が行われました。

【一身上の弁明】（要約）

9番 岩田 和幸

私としては非常に不満なところとして、「町長や議長、地元県議などの地元行政にも怠慢があった。」とありますが、怠慢とは一言も書いた記憶はありません。道議連の西関東連絡道路の路線の要望についても、議長と副議長は会議に出て知っていて、他の議員にそれを教えるべきだったのに教えなかった。それをこそ猛省を促したいと思っています。また、国や県からの政治的信頼を損なうとありますが、今まで私は活動報告第60号に対して、県から一言も苦情らしいものは来ていません。

それから、委員会でも問題になった事は一度もありません。

全員協議会においても、同じことを何回も聞かれたから、答弁しないことがあります。また、論点、問題点がはっきりしなかったことが非常に多いです。秩序を乱したことも記憶にありません。

最終的には、今日急に決議文を頂きましたので、細かいことはまた、町民に対して活動報告において弁明させていただきたいと思えます。

【討論】（要約）

【原案に反対】 7番 出浦 正夫

そもそもこの話は10月19日に県の職員が来て、西関東連絡道路の延伸の話をして、この事は道議連の総会が終わるまでは内々にしてほしいという趣旨の話があり、岩田議員が活動報告にその内容を書いたことが発端であると思います。記載内容は説明を受けた内容とそんなに違ってないと思うのです。

だから、ネックになっているのは、内々にして欲しいということ破ったことだと思えます。その後、秩父市の大手の建設業の人は、ほぼその内容を知っていました。また、1月6日にちちぶFMで久喜市長は西関東連絡道路が公園橋のところ直結する計画になりましたと語りました。だから、県の職員が内々にしてくださいと言ったその重みほどの程度のことだったのかと思います。

岩田議員は彼の信念でこれは知らせる必要があると思ったからこういうチラシを作ったと思うのです。

今小鹿野町議会がやるべきことは皆で力を合わせて西関東連絡道路を小鹿野の一角を通せと強く主張すべきだと考えます。このような決議を議会で上げることには問題があると思ひ、反対します。

【原案に賛成】 1番 笠原 義行

岩田和幸議員は議員の責務である町民の代表として、倫理観を備え、紳士的な発言行動とは考えられないようなことが多々ありました。再三に渡る指摘に対し、不誠実な対応が続き、このままでは町議会の秩序が大きく乱れ、議会の信頼、行政への悪影響が懸念されます。道路の内容も全員協議会等において議員皆で話し合っ、しっかりと議論をしてからこういった文書を出すべきであると考えます。また他の議員を貶めるような発言が多々見受けられるように思ひます。

これを機に議員としての責務を自覚し、お互いを思いやりしっかりと町のために議論ができるように努めていただきたいと願ひ、賛成します。

【原案に賛成】 12番 強矢 好光

出浦議員の話は十分分かります。この件に関しては11月から何回も全員協議会を開いてきました。私も全員協議会の中で話し合えて、解決ができれば良いと言いました。しかし、本人は他の議員の悪口は言う。自分の都合が悪くなると黙ります。そのような姿勢では困ります。少しでも皆さんの意見を聞き、決まったことに関してはいつまでもぐずぐず言わず、その方向に進むのが良いと思ひます。姿勢を改めていただきたいと思ひ賛成します。

人事案件

次の人事案件について同意しました。
小鹿野町公平委員会委員の選任について

加藤 八十夫 氏

第2回3月臨時会

会期3月25日

本議会では、補正予算や財産の取得、処分についてなど、町長提案議案4件が上程され、慎重審議のうえ、全ての議案を可決しました。

また、同日、高橋耕也議員より辞職願が提出され、議会で許可しました。高橋耕也議員の辞職に伴い、秩父広域市町村圏組合議会議員の選挙が行われ、指名推薦により笠原義行議員が選出されました。

財産の取得

小鹿野町役場新庁舎の資材として使用するため、スギJAS材等3691本、スギ板材1526枚を8118万円で小鹿野木材供給共同企業体（代表構成員 両神林産加工株式会社）と取得契約することについて可決しました。

【討論】（要約）

【原案に反対】 7番 出浦 正夫

前回の提案と比べ、地元業者が参画できるような工夫をした努力については敬意を表明します。

しかし、私は役場庁舎の建設は延期をして、新型コロナウイルスの収束に向けて町としては全力を挙げるべきだと考えます。

もし、この財産の取得案が可決されれば一気に庁舎建設が進んでいくことになると思います。庁舎建設が始まれば様々な問題が生じます。第一に庁舎の移転です。小鹿野庁舎で働く職員が、両神庁舎に引っ越せば、過密状況は避けられません。

また、庁舎建設の財源である合併特例債は令和7年まで延ばされたわけですから、庁舎建設を一時見合わせるべきと考えますので、反対します。

【原案に賛成】 10番 加藤 喜一

先ほど、コロナで町民の安心安全を守ってから庁舎を建設すべきだというご意見がありましたけれども、私はそれと同時に、災害からこの庁舎にいる職員の名を守ることも大事なことだと思います。熊本地震や東日本大震災で役場庁舎が損壊し、行政がストップするという

重大なことも発生しています。町民の命や行政の執行を絶え間なく守ることも、我々に課せられた義務だと思っておりますので、賛成します。

【原案に賛成】 1番 笠原 義行

まず、本議案は庁舎建設事業の工程の一つであり、町有林を庁舎の材料として使うため、間伐した町有林を製材として加工したものを確実に買い戻すための方法であると理解しております。

小さな苗木から何十年も小鹿野町の水と空気を吸い、町を長い間見守ってくれた大切な木は、今度は形を変え、町のシンボルの庁舎として生まれ変わりを、私達のために働いてくれる。本当に素晴らしいことと感じます。

本議案については、全員協議会等でもたくさん質疑が行われました。金額、数量、時期、業者選定、公平性、法的に問題がないかなど一つ一つ問題点を改善された議案であると感じます。

先の臨時会などでの意見の中には、そもそも庁舎建設に反対だとか、時期に問題があるなどお話しされる方もいますが、「木を見て森を見ず」という言葉もあるように、論点から逸れた事柄にとらわれずに、議案の本質を考え、採択に臨んでいただければと存じます。

夢と希望が詰まったプロジェクトを成功させるために皆様の賛同をお願いします。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議案名		議員名	笠原義行	高橋耕也	高橋謙治	齋藤維	山中豊彦	猪野武雄	出浦正夫	岩田和幸	加藤喜一	黒澤光司	強矢好光
3月 定例会	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度小鹿野町一般会計補正予算（第7号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町新型コロナウイルス感染症対策中小企業融資資金利子補給基金条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町一般会計補正予算（第8号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和2年度小鹿野町営国民宿舎事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度小鹿野町一般会計予算		○	○	○	○	●	●	●	●	○	-	○
	令和3年度小鹿野町国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度小鹿野町介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和3年度小鹿野町営国民宿舎事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	工事請負変更契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町公平委員会委員の選任について（加藤 八十夫氏）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	障害者福祉行政の充実、障害者福祉施設の設置に関する請願書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
岩田和幸議員の活動報告（第60号等）の内容及び日頃の活動に抗議し、猛省を促す決議書案（注1）		○	○	●	○	●	○	●	-	○	-	○	
3月臨時会	令和2年度小鹿野町一般会計補正予算（第9号）		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	令和3年度小鹿野町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	財産の取得について		○	○	○	○	●	○	●	○	-	○	
	財産の処分について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	

注1 この議案については、岩田和幸議員は自身に関係する議案のため採決に加わっていません。

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。



全国町村議会議長会
町村議会議員特別表彰

黒澤 光司 議長

長年にわたり議会の運営と地域の振興発展に尽くされた功績が認められ、町村議会議員特別表彰を受賞されました。

町政に対する一般質問

一般質問一覧 (質問順)

<p>猪野 武雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策に関して ・町長の政治姿勢等に関して ・人権の尊重と職員の意識感覚に関して ・水道行政に関して ・教育行政に関して 	<p>出浦 正夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場庁舎建築について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・子育て支援について 特に、国民健康保険税の子どもへの均等割賦課の減免について ・観光産業振興について
<p>岩田 和幸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ関係について ・水道について ・庁舎建設について ・クライミングによる町おこしについて ・プレーパーク事業について 	<p>高橋 謙治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクール構想について ・エネルギー政策について ・新庁舎建設について
<p>山中 豊彦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光について 	<p>齋藤 維</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育について ・移住促進施策について
<p>笠原 義行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境について ・関係人口創出推進事業について ・テレビ難視聴地域について ・新庁舎建設事業について ・町長の政治指針について 	<p>高橋 耕也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小鹿野町やすらぎの丘公園の今後について ・除雪機貸し出しについて ・デジタルトランスフォーメーションについて ・二次救急病院の在り方について

○掲載希望のあった議員の一般質問の要約を掲載しています。

町政に対する一般質問

3月 定例会



猪野 武雄 議員

コロナ対策ワクチン接種を進めて 穏やかな日常を取り戻そう！

質 コロナ対策によるワクチン接種が、ワクチンの供給が遅れる中で実施されようとしている。一人でも多くの町民が接種を受けて集団免疫を得るのが肝要だが、町としてどのように取り組むのか。

答 ワクチン接種の目的を町民が理解の上、安心して受けていただくため、感染予防効果とリスクに係る情報提供をしっかりと行う。また、一人暮らしや老々世帯等に関しては、町が接種の同意や予約などの支援を行い、接種率を少しでも高めるよう努力したい。

質 は何か。また、役場庁舎の建設は、今後、本格化する。そこで、二期目を当然目指すと思うが、町長の出馬表明の考えは…。

答 3つ挙げれば、子育て包括支援（ワンストップ化）、こども園の完成、クライミングパークの開設である。現在、公約の実現中であり、道半ばである。チャレンジジャーとして引き続き町政を担いたく、次期への出馬表明をしたい。

初に広域化に向けた住民説明会を行う予定と聞くが、町からも議会や町民に対する説明を丁寧に行う。また、当局には、しっかりと町の言い分を伝え、町民の利益を守っていく。

赤平橋から一気通貫で秩父公園橋に抜けるのが理想だが、県が、先般示した実現性の高い計画に沿って取組みたい。故岩崎県議の意志もしっかりと生かしていきたい。



山中 豊彦 議員

安心、安全な登山を

質 昨夏から町内で登山等による事故が相次ぎ、死亡事故も多発しているが対策を伺います。

答 山中議員におかれましては、環境省自然公園指導員として、活躍されているとともに、埼玉県警山岳救助隊協力員として救助活動にあたられておりますことに、心より感謝申し上げます。小鹿野町には、両神山、二子山、四阿屋山などがあり、多くの登山者等にお越しいただいています。

令和2年度は、両神山で5件、二子山でも5件の滑落や道迷いが発生し、両方の山で4名の死亡者が出ております。また、四阿屋山では令和3年1月、山頂附近の鎖場で滑落による死亡事故が発生しました。両神山や四阿屋山は、埼玉県と町との自然公園施設維持管理業務委託契約により、小鹿野町から業者等へ再委託し登山道点検や維持管理に努めております。町では、危険な箇所を示した

登山マップの配布や、事故内容等を具体的に示した看板を設置し注意喚起を行っております。両神山、二子山等小鹿野町の誇れる観光資源であり、引き続き山岳情報の発信、注意喚起、可能な限りの整備を行い登山者等の安全に配慮してまいります。

質 小鹿野クライミング協会と町との関係を伺います。

答 小鹿野クライミング協会は令和2年9月26日に設立された一般社団法人であり、直接町とは関係のない民間の団体と認識しております。小鹿野町の進めるクライミングによる町おこし事業について、しっかりと連携して安心安全な登山やクライミングが出来る町を目指していく必要があると考えております。町は何をどこまで行うのか、どのような関係を築いていくのが両者にとって良いか、しっかりと検討してまいります。



「次代へ歩む新小鹿野町の創造」 教育環境について

笠原 義行 議員

質 デジタル技術の発展に

よりオンラインでどこにいても様々な教育の機会が得られる昨今、所得格差等による子どもたちの教育環境の格差がますます顕著に表れてきてしまうのではと感じます。当町でも未熟等支援しているとは思いますが、この度の新型コロナウイルスの影響では機会が奪われてしまいました。今後、様々な視点を視野に、学校外教育への支援策も考えていかなければと感じますが、ご所見をお伺いいたします。

答 現在町では、給食費無償化や、教材費無償化など様々な取り組みをしております。こうした対応は格差是正への一つの方策と考えております。また現代社会においては、本人のやる気とインター

ネットさえ通じていれば、

世界中どこにいても、多種多様な教育が受けられる社会となってきました。これまでの町の施策を継続し実施していくことはもちろんですが、来年度におきましては、就学援助を必要とする家庭に限り、さらに通信費の一部助成も検討し、家庭における学習環境の整備にも努めてまいります。

質 塾や習い事といった目的

だけに使用できる「学校外教育パウチャー」の検討をしてみたいかがでしょうか。

答 コロナ禍の影響等が出

ている中そういった事業も検討していく必要があるのではないかと考えております。

質 新型コロナウイルス等

の影響でこの社会全体が



コロナ禍の下での 役場庁舎建築は延期を

出浦 正夫 議員

質 役場庁舎建築について

伺います。現在の町行政の最重要課題は、新型コロナウイルス感染症から町民を守り拡大を阻止することにあります。コロナ禍の下での役場庁舎新築

新たなステージに向かう中、町民のため確固たる信念のもと行動するリーダーが求められます。本年度は改選期にもあたりますが町長の決意をお伺いいたします。

答 与えられた任期を、ま

ずは全うすることに全集中を傾けてまいります。また新型コロナウイルス対策や町の活性化など、やり残した事業も多くございますので、再度挑戦してまいりたいと考えております。

は延期するべきと考えま

すが町長の見解を伺います。

答 新型コロナウイルス感

染症の影響は計り知れないものがあり、まさに未曾有の危機的状況を迎えていると感じております。その状況下において庁舎建設の準備を進めておりますが、庁舎建設は小鹿野町の将来を考える上で非常に重要な位置づけであると考えております。

現在の庁舎は、コンク

リート強度の低下、建物全体の劣化、震度6強以上の地震で倒壊または崩落する危険性のある建物と診断されました。役場庁舎が震災の直接的被害で使用不能となり、行政機能の損壊、災害対策が機能不全に陥る事態は、断固として回避しなければなりません。

はなりません。

これまでも町政懇談会、説明会、ワークショップなどを開催し新庁舎の建設に向けた取り組みを行って参りました。また、町有林を既に間伐、省エネ効果の高い庁舎設計を進めることにより早期の庁舎建設が望まれます。財政的な面においても合併特例債や財政調整基金など財源の目処が立っているこの時期に新庁舎建設を予定通り進めたいと考えております。

質 コロナ禍の下で町民は

たいへん厳しい生活をしていきます。小鹿野庁舎から両神庁舎への引越し、庁舎の取り壊し、コロナワクチンの住民への接種がこの時期に重なります。財源的にも庁舎建設を延期しても何も問題はありませんが、庁舎建設は延期できませんか。

答 コロナも地震も心配で

あり同時並行で計画しており進めて行きます。



電磁波の影響に配慮した 対策と運用を

高橋 謙治 議員

質 GIGAスクール構想により、小中学校へタブレット配付がされ、Wi-Fi環境が整備されています。

近年の通信環境の発展では、多くの分野で変革をもたらしておりますが、それと同時に頭痛やめまい、吐き気に襲われるなど、電磁波による健康被害を訴える方が多くなっているようです。電磁波過敏症については、現在、科学的な根拠は不十分のようですが、予防原則に従って何らかの対応をおこなうべきと考えます。

電磁波による健康被害についての見解と、小中学校への整備をするにあたり、電磁波過敏症への対策を行っているか伺います。

答 学校における児童生徒の健康維持、増進、安全管理に関する必要事項に

ついては学校保健安全法及び規則に定められていますが、電磁波に関する項目はありません。今後国や県が示す指針や基準など、その動向にも注視しながらICT機器を安全かつ適切に活用して参りたいと考えています。校内ネットワーク環境整備では、普通教室や特別教室、職員室、体育館に無線LAN環境の整備を行いました。電磁波については、各家庭で使用している機器と同等のものを使用しており、安全上問題ないと認識していますので、電磁波過敏症への対策は特に実施していません。

しかし児童や保護者からの申し出や相談があった場合には、Wi-Fiアクセスポイントの電源を利用時のみ入れるなどの配慮を考え

ております。また、目の疲れや睡眠障害など支障をきたす恐れもあることから、ブルーライトカットのシートを液晶画面に貼ることで予防する計画

です。保健室につきましては、議員指摘のとおり、クリーンゾーンという形でWi-Fiアクセスポイントは設置しておりません。



食育の重要性

齋藤 維 議員

質 現在の学校教育における食育の取組内容について伺います。

答 食育については家庭科が中心になってやっており、そこで栄養素や添加物の問題等を学びます。他の教科の中でも食育に繋がるものは入っており、総合的な学習や給食の時間を使って食育を実施しております。

質 子ども達の食生活の現状を見ますと、子ども達に食の知識が十分に身に付いていないと感じています。子ども達の食に対しての意識調査を実施していた

だいてはいかがか？子ども達は、どういったものを食べたなら自分の身体にいいと思うのか、栄養素について学んだだけでは分からないと思いますし、生活習慣病にならない為にはどのような食生活をしたら良いのかとか、子ども達がどのように考えているのか、まず実態を把握していただきたいと思っておりますが、いかがか。

質 意識調査はできませんので、実施する方向で考えていきたいと思っております。

質 現在の単発で実施していただいている栄養教諭

の食育の授業を、しっかりと自分の食について考えられる高学年位を対象に集中して食について学ぶ連続した食育の授業を実施することはできませんか。愛媛県の今治市で総合学習の時間を十時間使って食育の授業を実施したのですが、食育の授業を実施する前と後で子ども達の食に対する意識がはつきり変わっております。このような連続した食についてしっかりと学ぶ食育の時間を設けていく必要があるかと思っておりますが、いかがか。

答 子どもの課題意識を高めたり、学習したという充実感を持たせるには単発でやるより、そういう方がいいと思いますので、栄養教諭と相談しながら実施できる方向で考えていきたい。今治市の食育の実践は本当にすばらしい、当町も町をあげてあのようにできればいいと思いますので、今後いただいた課題として受けとめていきたい。



議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、6月上旬に両神庁舎で開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神庁舎・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



議長交際費の公開

令和3年1月～3月

3月 5日	岩崎 宏 県議会議員 告別式 香資料、生花料	36,500
令和2年度 支出合計		84,500

編集後記

風薫る季節を迎え、町民の皆様には、お元氣にお過ごしのことと存じます。そして、皆様の本誌をお読み頂く頃、変異ウィルス等によるリバウンドで、コロナ第四波の襲来事態となつていないことを切に願います。

ところで、本コロナウィルスに対し、高い感染予防効果が期待されるワクチン接種がいよいよ本格化します。町民の一人でも多くの方にワクチンが行き渡ることで、コロナ収束が期待できると考えます。皆様のワクチン接種に対する深いご理解とご協力お願いします。

なお、当編集委員会では、分かり易い紙面づくりに心掛けております。ご意見等お寄せ頂ければ幸いです。

▼議会だより編集委員会

委員長 高橋 謙治
副委員長 山中 豊彦
委員 加藤 喜一
黒澤 光司
猪野 武雄